

平成28年版

# まんがで読む 防衛白書

防衛装備品と  
防衛装備庁の任務を知ろう！



登場人物  
紹介

緒方 美羽 (11)  
(おがた みう)

小学5年生。美智子の娘で、一郎の孫にあたる。熊本地震の被災者で多くの自衛官の活躍を見てきた。つねに明るく前向きな性格で親や友人を支えている。



親子

孫娘

山下 マモル (10)  
(やました まもる)

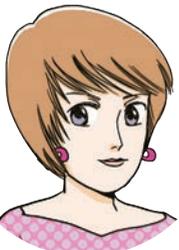
プラモデル作りが趣味の小学4年生で近所のプラモデル屋「柳田商店」の常連客。特に自衛隊の航空機シリーズはコンプリートするほどお気に入り。



祖父

常連客

常連客



美羽の母  
緒方 美智子 (40)  
(おがた みちこ)



柳田 一郎 (68)  
(やなぎだ いちろう)

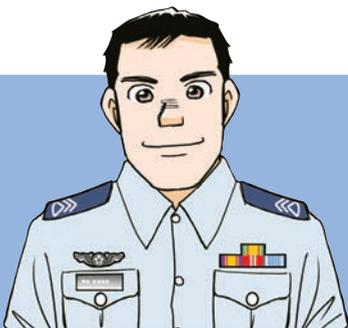
創業80年のプラモデル屋「柳田商店」の二代自店主。子どもから大人までに親しまれている店。顔が広いが曲がったことが嫌いであまり頑固な面も。



防衛省の人々

森山 真吾 (40)  
(もりやま しんご)

美智子の幼なじみで、子どもの頃から「柳田商店」に通っているプラモデル好きの航空自衛官。航空機が好きなマモルと、自衛隊に興味をもつ美羽を防衛省に案内する。



海上自衛官  
(広報官)  
島本 直美  
(しまもと なおみ)



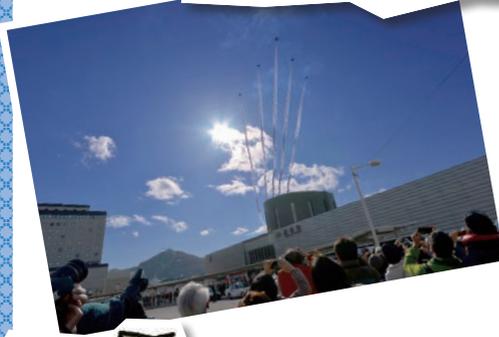
防衛装備庁  
事務官  
田部 英介  
(たべ えいすけ)



平成28年版

# まんがで読む 防衛白書

防衛装備品と  
防衛装備庁の任務を知ろう！



## も く じ



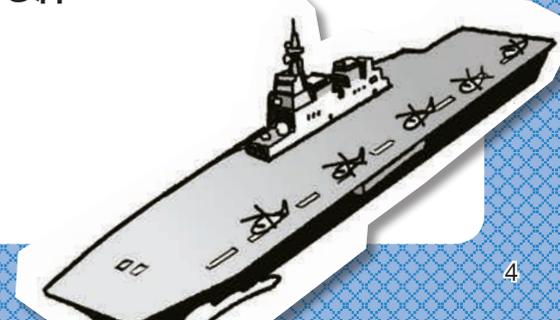
第1章 <sup>だい</sup>ブルーインパルスがくれた<sup>しょう</sup>出会い<sup>であ</sup>…… 5

第2章 <sup>だい</sup>「<sup>しょう</sup>備えあれば<sup>そな</sup>憂いなし<sup>うれ</sup>」って  
こういふこと! …………… 8

第3章 <sup>だい</sup>被災者<sup>しょう</sup>をも<sup>ひ</sup>支<sup>さい</sup>えている<sup>さ</sup>防衛装備品<sup>ぼうえいそうびひん</sup>…… 16

第4章 <sup>だい</sup>どんなときも<sup>しょう</sup>日本<sup>にっ</sup>を守り<sup>ぽん</sup>抜<sup>まも</sup>く<sup>め</sup>ために…… 29

第5章 <sup>だい</sup>平和<sup>しょう</sup>へとつな<sup>へい</sup>がる<sup>わ</sup>絆<sup>きずな</sup>…………… 55



第1章

ブルーインパルスが  
くれた出会い

おつちやーん  
ブルーインパルスの  
新しいプラモ  
入ったあ!?

店主：柳田

主人公  
山下マモル(小4)

ああ 悪いな  
もう  
売れちゃった  
んだよ  
マモル

あれってほかじゃ  
売ってないのにー!  
早く買いに来ない  
マモルが悪い!

えーっ!?

おじさん、  
またお客さん  
相手にお説教  
ですか?

なんだよー  
だったら予約  
しといたのに  
~~~~~!



航空自衛官の  
森山です

悪かったね  
ブルーインパルスは  
僕にとっても  
大切なもの  
だったんだ

自衛隊！？

ああ、  
こいつも  
子供のころからの  
この店の常連でな  
あのプラモは彼に  
売ったんだよ

そういうば  
マモデルは自衛隊の  
航空機シリーズを  
集めとつたな

おまえは  
自衛隊がどうやって  
航空機を  
取得してるのか  
知ってるか？

え！？  
本物の？  
……  
知らない  
どうやって  
いるの？



第2章

「備えあれば憂いなし」  
ってこういうこと!

次の日曜日



うん  
航空機はほとんど  
持ってるよ

へえー  
マモルくん  
いろんなプラモを  
持ってるんだね

T-4中等練習機



パイロットになるための訓練を行う  
中等練習機。基本操縦課程において  
使用されている、信頼性・整備性の  
高い純国産の航空機です。各種祭典  
などでアクロバット飛行を行う第4  
航空団飛行群第11飛行隊、通称「ブ  
ルーインパルス」の使用機でもあり  
ます。

お、詳しいなあ  
あのブルーインパルスは  
「T-4練習機」といって  
安定した飛行特性と  
高い運動性能が特徴の  
純国産航空機なんだ

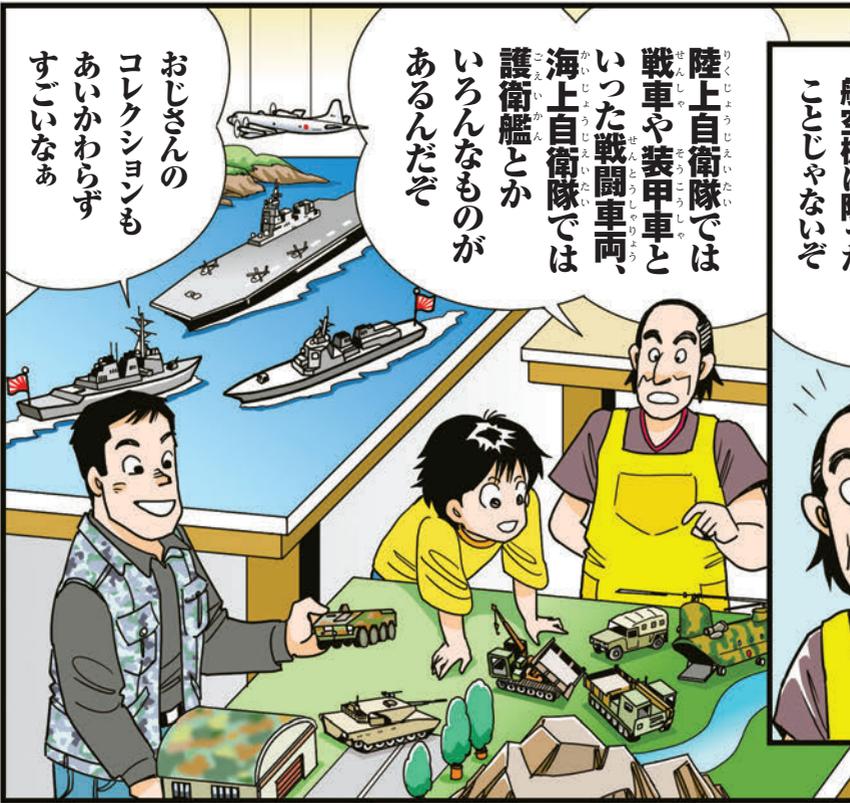
自衛隊の航空機って  
戦闘機と偵察機  
輸送機、救難機とか  
いろんな種類が  
あるんだよね？



おいおい、自衛隊の  
装備がすごいのは  
航空機に限った  
ことじゃないぞ

陸上自衛隊では  
戦車や装甲車と  
いった戦闘車両、  
海上自衛隊では  
護衛艦とか  
いろんなものが  
あるんだぞ

おじさんの  
コレクションも  
あいかかわらず  
すごいなあ



でも自衛隊が  
装備しているものって  
航空機や車両だけ  
じゃないんでしょ？

もちろんさ  
自衛官が身につけて  
いる制服やヘルメット、  
靴も立派な  
防衛装備品だよ



# 空



16式機動  
戦闘車



AH-64D  
(戦闘ヘリコプター)



89式5.56mm小銃



C-1輸送機



地対空誘導弾  
パトリオット



F-15J  
戦闘機

# 陸

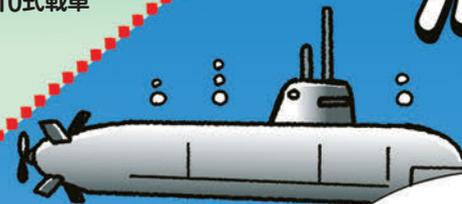
12式地対艦  
誘導弾



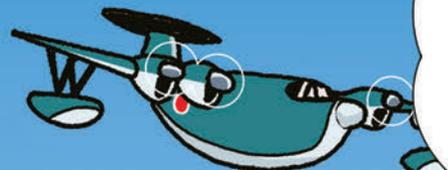
10式戦車



# 海



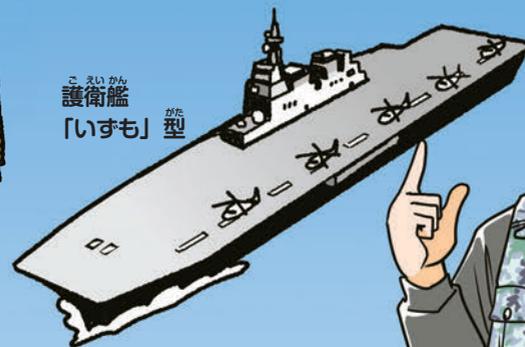
潜水艦  
「そりゅう」型



US-2救難飛行艇



護衛艦  
「いずも」型



自衛官は常に  
危険と隣り合わせ  
だからね  
日常生活では想像も  
できないようなものも  
用意されているんだ

へー  
いろんなものが  
あるんだなあ

火器や弾薬にも  
いろんな種類が  
あるんだぞ





遭難者の位置を知らせる  
「反射鏡」

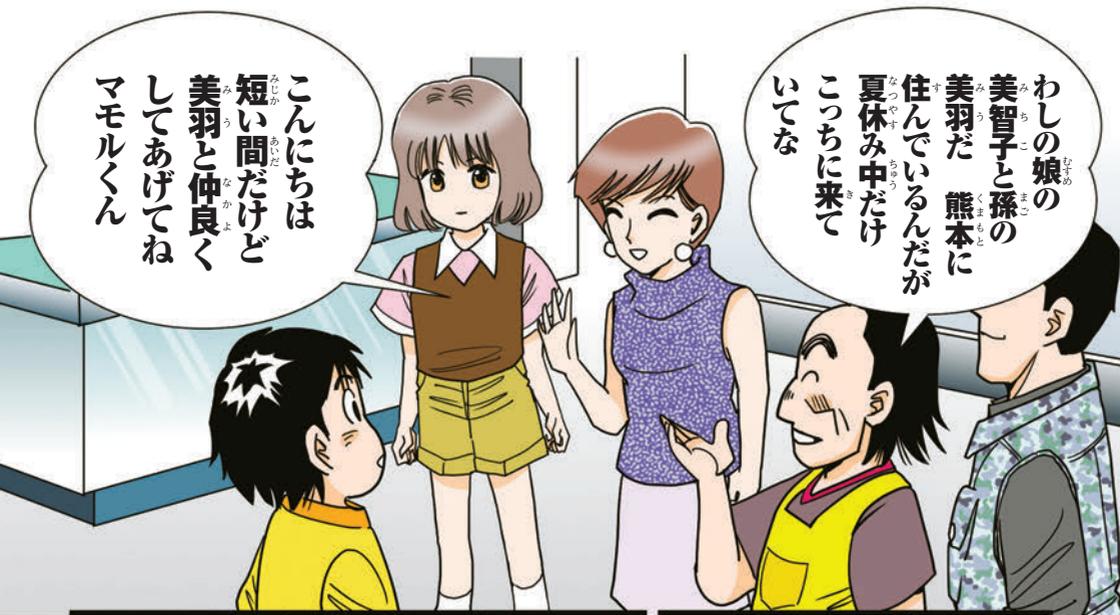


海や山などでの捜索時は、遭難者が見つかっても救援を呼ぶのが困難な場合もあります。そこで自衛隊員は携帯しているこの「反射鏡」を太陽光に反射させ、救難航空機や艦艇に反射光を送って自分のいる位置を知らせます。



わしの娘の  
美智子と孫の  
美羽だ 熊本に  
住んでいるんだが  
夏休み中だけ  
こっちに来て  
いてな

こんにちは  
短い間だけど  
美羽と仲良く  
してあげてね  
マモルくん



え？  
熊本って…

地震は  
大丈夫だったん  
ですか？

**平成28年熊本地震**  
2016年4月14日午後9時26分ごろ  
に発生した熊本県を震源とする最大  
震度7の強い地震。余震が続き、大々  
な被害を出しました。



当時は余震が  
ひびくつ、  
しばらくは避難所  
暮らしだったの

でも自衛隊の  
方々には本当に  
助けられたわ



第3章

被災者をも支えている  
防衛装備品



わあ！  
ここが防衛省か  
でっかい！！

なんか  
ドキドキして  
きちゃった



ようこそ  
防衛省へ！

マモルくん  
美羽ちゃん  
さっそく中を  
案内するよ



わ！  
森山さん  
かっこいい！！







あなたたちのことは森山二等空曹から聞いたわ

ところで防衛省・自衛隊がどんなことをしているところなのか知っていますか？

あ！  
……えと  
その……



災害から国民の生命・身体と財産を守ること  
他国が攻めてきたときなどに日本を守ること  
あと世界の平和と安定を維持すること  
ですか？

え!?  
スゲツ!



私、地震がきっかけで自衛隊という仕事に興味を持って

防衛省・自衛隊ってどんなことをしているんだろうと思っ調べてみたんです

へえー



災害にあった人を  
助けたり行方不明者を  
搜索したり  
ケガをした人を治療し  
たりするの  
そのためにこのような  
防衛装備品を備えて  
います



美羽ちゃん  
は熊本地震の  
被災者だった  
わね  
そう  
災害派遣も  
自衛隊の重要な  
任務なんです

## コラム じんめいきゅうじょシステムI型 人命救助システムI型

閉じこめられた負傷者を救出するために金  
属やコンクリート等を切断する機材も。



コンテナの中に救助のための  
各種機材を格納したもの。災  
害や事故などによって倒壊し  
た家屋や事故機から被災者を  
搜索し、救助することを目的  
に全国各地の部隊に配備され  
ています。災害発生時には大  
型トラックでけん引されて被  
災地へ向かいます。

人間が入ることのできない隙間に入  
れ、要救助者などを搜索できます。



救助された負傷者は速やかに担架で  
移送されます。





コラム **野外手術システム**

初期外科手術に対応でき、1日10〜15人の手術ができます。



医療設備のない場所でも外科手術ができる防衛装備品として導入。手術車、手術準備車、滅菌・補給車の3台の車両で1セットになっているシステムです。初期外科手術や応急治療をするもので、専門的な治療は安全で設備も整った医療機関で行うこととされています。

手術車と手術準備車は連結でき、ひとつの部屋のようになります。



手術車には電動手術台、X線撮影装置、麻酔器などが装備されています。



それに防衛装備品には命を助けるものはもちろん被災者の抛り所になるものもたくさんあるのよ

あ！被災地では自衛隊の方たちが仮設のお風呂を作ってくれました避難所ではみんな疲れ切ってたからほんとに生き返った気分だったんです

あ、そのニュース知ってる！  
いろんな部隊がのれんを付けたんだよね



### くまもととしん さいがい はげん ようす 熊本地震の災害派遣の様子



捜索活動のほか、給水・給食支援なども行って被災者の生活をサポート。



仮設風呂では各部隊が用意した立派なのれんで人々を和ませました。





コラム **野外入浴セット2型**



大きなテントの中に浴槽やシャワー設備を作ります。



国内における災害派遣や海外での支援活動などでも使用され、活躍しています。

10,000リットルの貯水タンク



仮設のお風呂は「野外入浴セット2型」という防衛装備品で一日に約1,200人が入浴できるものなの。これには浴槽からシャワースタンド、すのこや脱衣かごなども付いています。まさに移動式浴場といったところね。



陸上自衛隊が装備する野外作業用調理器具であり、もとは隊員の野外での食事を作る器材として開発。灯油バーナーを使ったかまど6基と万能調理器などで約200人分の炊飯とおかず、汁物などの調理が同時にできます。

食材を切るための回転式カッターも搭載されており、野菜などの輪切り、乱切り、千切りなども容易にできます。



一度に大量の調理ができることで、被災者に温かい食事を提供できます。

炊き出しを行った器材も「野外炊具1号」という防衛装備品です。炊飯から汁物・焼き物・揚げ物など、いろんな調理が一度に約200人分できるのよ



あたたかい食事とお風呂のおかげで私たちが被災者もホントに元気になれたの

自衛隊の人たちにはみんなすごく感謝してるわ

ホントにすごいや。それに、自衛隊には他にも防衛装備品を使ってた皆さんの任務があるんですよ

その通りよ  
災害派遣ももちろん  
大切な任務だけど  
自衛隊には外部からの  
侵略から日本を守る  
という重要な  
任務もあります

とくに日本は  
島国だから陸からでは  
なく海や空から  
攻めてこられることを  
想定しなくては  
ならないからね

そのためには  
陸上自衛隊・海上  
自衛隊・航空自衛隊  
それぞれに必要な  
装備を的確に配置して  
おくことが大切なの



防衛装備品を使い  
こなせるようになる  
のは大変なんじゃ  
ないですか？

はい  
そのために自衛隊は  
日々防衛装備品を  
使って実戦的な訓練を  
しているんですよ

リムパック  
**RIMPAC**

**2年ごとに実施される  
世界最大級の多国間訓練**



アメリカ海軍第3艦隊が主権する、太平洋の周辺諸国が参加して行う共同演習。1971年から実施され、日本の海上自衛隊も1980年から参加しています。

**レッド・フラッグ・アラスカ**

**実戦の状況を想定して行われる  
世界最大級の航空戦訓練**



アメリカ空軍がアラスカで実施する演習。日本からは航空自衛隊員約310人が参加（2016年）し、日米共同の防空戦闘、空中給油などの訓練を行いました。

自衛隊では万が一の事態に備え、国内ではもちろん海外の部隊との共同訓練も実施しています。共同訓練のほとんどが実戦さながらの状況で大規模に行われ、代表的なものとして海上自衛隊の「RIMPAC」※、陸上自衛隊の「米海兵隊との実動訓練（フォレストライト）」、航空自衛隊の「レッド・フラッグ・アラスカ」などがあります。

米海兵隊との実動訓練（フォレストライト）

**日本で行われる、  
陸上自衛隊と米海兵隊との実動演習**



アメリカ海兵隊と陸上自衛隊の2カ国間の訓練として1980年から年2回、国内の主要演習場において実施しています。

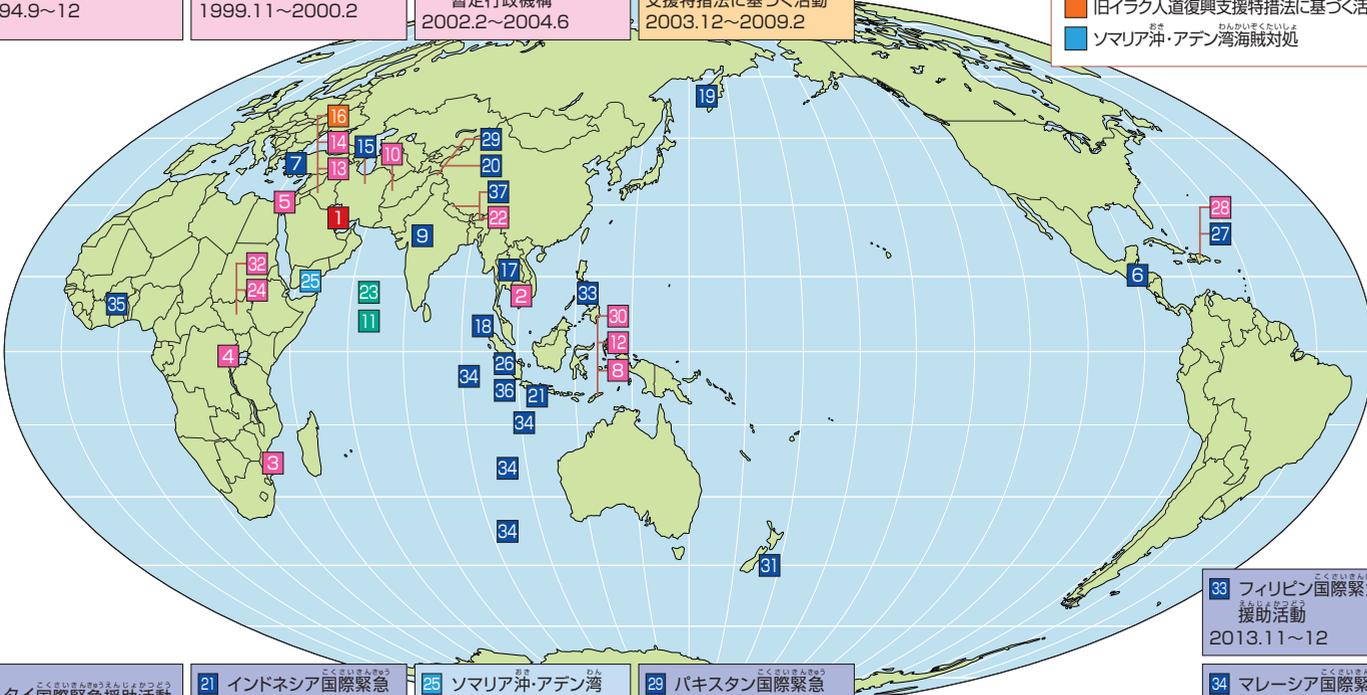


※RIM of PACific exercise : 環太平洋合同演習

|                                    |                                        |                                              |                                              |
|------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 1 ペルシャ湾掃海艇派遣<br>1991.4~10          | 5 国連兵力引き離し<br>監視隊<br>1996.2~2013.1     | 9 インド国際緊急援助<br>活動<br>2001.2                  | 13 イラク難民救援<br>2003.3~4                       |
| 2 国連カンボジア暫定<br>機構<br>1992.9~1993.9 | 6 ホンジュラス<br>国際緊急援助活動<br>1998.11~12     | 10 アフガニスタン<br>難民救援<br>2001.10                | 14 イラク被災民救援<br>2003.7~8                      |
| 3 国連モザンビーク活動<br>1993.5~1995.1      | 7 トルコ国際緊急援助<br>活動に必要な物資輸送<br>1999.9~11 | 11 旧テロ対策特措法に<br>基づく協力支援活動<br>2001.11~2007.11 | 15 イラン国際緊急援助<br>活動に必要な物資輸送<br>2003.12~2004.1 |
| 4 ルワンダ難民救援<br>1994.9~12            | 8 東ティモール難民救援<br>1999.11~2000.2         | 12 国連東ティモール<br>暫定行政機構<br>2002.2~2004.6       | 16 旧イラク人道復興<br>支援特措法に基づく活動<br>2003.12~2009.2 |

防衛省・自衛隊は、紛争・テロなどの原因を解決するための政府開発援助(ODA)を含む外交活動とも連携しつつ、国際平和協力活動などに積極的に取り組んでいます。

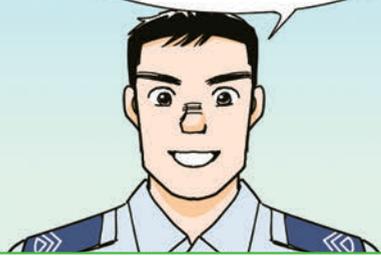
- ペルシャ湾掃海艇派遣
- 国連平和維持活動
- 国際緊急援助活動
- 旧テロ特措法(補給支援法)に基づく活動
- 旧イラク人道復興支援特措法に基づく活動
- ソマリア沖・アデン湾海賊対処



|                                       |                                            |                                       |                                         |
|---------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------|
| 17 タイ国際緊急援助活動<br>2004.12~2005.1       | 21 インドネシア国際緊急<br>援助活動<br>2006.6            | 25 ソマリア沖・アデン湾<br>海賊対処<br>2009.3~現在    | 29 パキスタン国際緊急<br>援助活動<br>2010.8~10       |
| 18 インドネシア国際緊急<br>援助活動<br>2005.1~3     | 22 国連ネパール<br>政治ミッション<br>2007.3~2011.1      | 26 インドネシア国際緊急<br>援助活動<br>2009.10      | 30 国連東ティモール<br>統合ミッション<br>2010.9~2012.9 |
| 19 ロシアカムチャッカ半島<br>沖国際緊急援助活動<br>2005.8 | 23 旧補給支援特措法に<br>基づく補給支援活動<br>2008.1~2010.1 | 27 ハイチ国際緊急援助<br>活動<br>2010.1~2        | 31 ニューゼaland<br>国際緊急援助活動<br>2011.2~3    |
| 20 パキスタン国際緊急<br>援助活動<br>2005.10~12    | 24 国連スーダンミッション<br>2008.10~2011.9           | 28 国連ハイチ安定化<br>ミッション<br>2010.2~2013.2 | 32 国連南スーダン<br>共和国ミッション<br>2011.11~現在    |

|                                         |
|-----------------------------------------|
| 33 フィリピン国際緊急<br>援助活動<br>2013.11~12      |
| 34 マレーシア国際緊急<br>援助活動<br>2014.3~4        |
| 35 西アフリカ国際緊急援助<br>活動に必要な物資輸送<br>2014.12 |
| 36 インドネシア<br>国際緊急援助活動<br>2014.12~2015.1 |
| 37 ネパール国際緊急<br>援助活動<br>2015.4~5         |

自衛隊が行っている国際平和協力活動には「国際平和協力業務」「国際緊急援助活動」などがあるんだけど、そのどれも防衛装備品があつてこそ任務が遂行できるんだよ



自衛隊による国際平和協力活動

- 国際平和協力業務**  
「国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律」に基づく活動
- 国際緊急援助活動**  
「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」に基づく活動
- 諸外国の軍隊等に対する協力支援活動等**  
「国際平和共同対処事態に際して我が国が実施する諸外国の軍隊等に対する協力支援活動等に関する法律」に基づく活動
- イラク国家再建に向けた取組への協力**  
「イラクにおける人道復興支援活動及び安全確保支援活動の実施に関する特別措置法」に基づく活動  
(09(平成21)年2月終結)
- 国際テロ対応のための活動**  
「テロ対策海上阻止活動に対する補給支援活動の実施に関する特別措置法」に基づく活動  
(10(平成22)年1月終結)

凡例: ■ は限時法、■ は恒久法に基づく活動を示す。

防衛装備品を  
より適切に  
管理するために  
防衛省では新しく  
「防衛装備庁」という  
組織をつくりました

防衛装備庁？

もしかして  
新しい航空機  
なんかもそこで  
作ってるのかな

ひょっとして  
すごい  
秘密兵器とか  
開発して  
いたりして

わお！

まあまあ  
2人とも  
落ち着いて

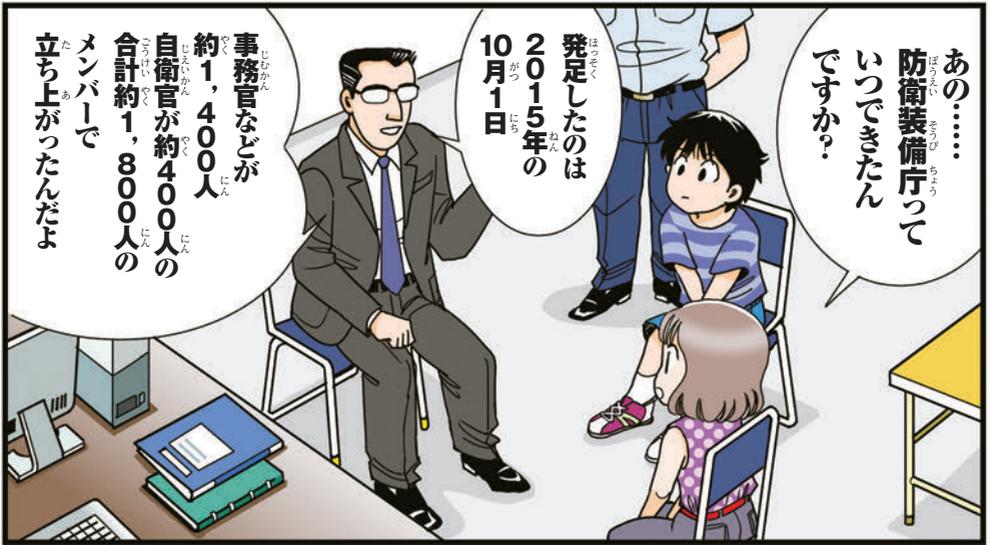
よかつたらその  
防衛装備庁に  
行ってみるかい？

行きますっ！！

だいしよ  
第4章

どんなときも  
日本を守り抜くために

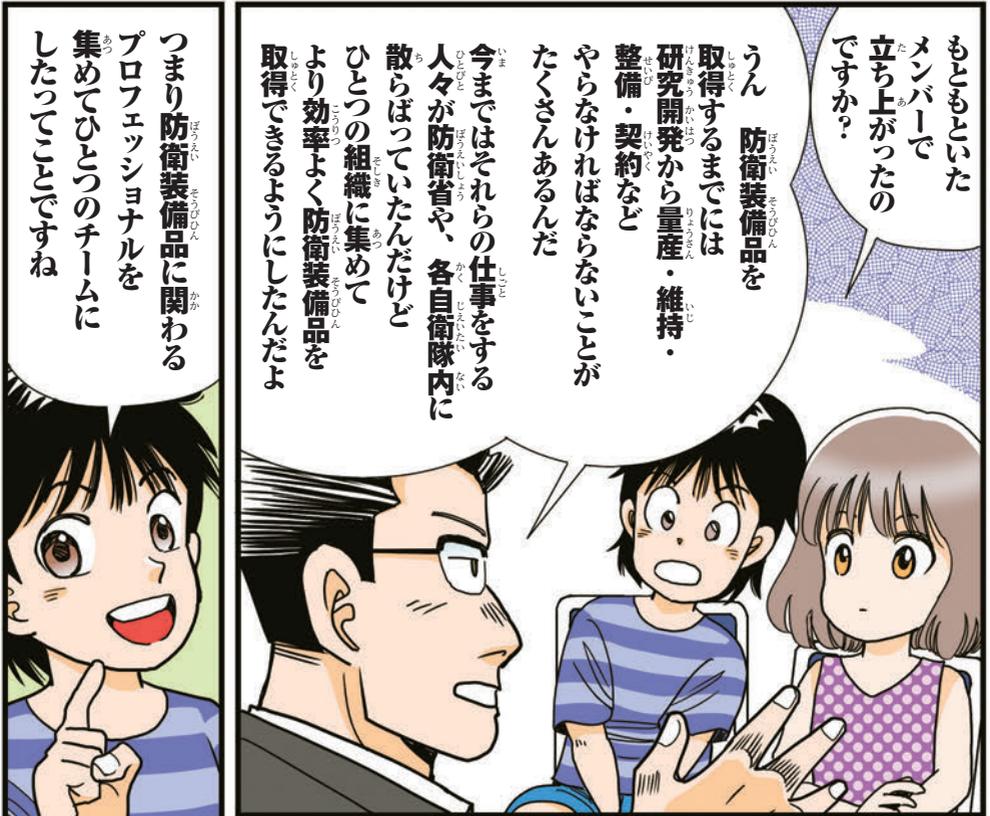




あの……  
防衛装備庁って  
いつできたん  
ですか？

発足したのは  
2015年の  
10月1日

事務官などが  
約1,400人  
自衛官が約4000人の  
合計約1,800人の  
メンバーで  
立ち上がったんだよ



もともといた  
メンバーで  
立ち上がったの  
ですか？

うん 防衛装備品を  
取得するまでには  
研究開発から量産・維持・  
整備・契約など  
やらなければならぬことが  
たくさんあるんだ  
今まではそれらの仕事をする  
人々が防衛省や、各自衛隊内に  
散らばっていたんだけど  
ひとつの組織に集めて  
より効率よく防衛装備品を  
取得できるようにしたんだよ

つまり防衛装備品に関わる  
プロフェッショナルを  
集めてひとつのチームに  
したってことですね





今までは誰が  
防衛装備品を  
そろえていたの？



これまでは  
陸・海・空  
それぞれの自衛隊の  
ニーズに応じて  
技術研究本部が  
研究開発  
装備施設本部が  
調達していたんだよ



しかしそれだと  
各自衛隊間で情報の共有や  
連携がうまく行えない  
場合がある

そこで防衛装備品の  
研究開発や調達を二元的  
に扱う防衛装備庁を  
作ることで防衛装備品の  
共通化や技術の共有が  
きちんとできる  
ようになったんだ



そうしたら  
より効率的に  
防衛装備品が  
取得できるように  
なりますね

そのとおり！

ぼうえいそう び ちよう  
**防衛装備庁のロゴマーク**



中心の円は各自衛隊を想起させる色使いで組織が協力して取り組む様子を表し、また国際平和に貢献していくという意味も込めて地球をイメージしています。円を取り巻く3つの線は、陸・海・空各自衛隊の代表的な防衛装備品をモチーフにしています。

あ！  
 この防衛装備庁の  
 ロゴマーク！

もしかして  
 地球とその周りの  
 3つの線が航空機と  
 車両と護衛艦って  
 ことですか!?



そのために  
**防衛装備庁**には  
 主に5つの  
 任務が課せられて  
 いるんだよ

防衛装備品で  
 地球を守ろうって  
 ことですね

よくわかったね  
 さすがマモルくんだ  
 地球を各自衛隊の  
 代表的な  
 防衛装備品が  
 取り巻いて国際平和に  
 貢献していく  
 という意味なんだ



## ミッション 1

技術力を確保・強化  
する

最近の技術の進歩は  
めざましいものが  
あるよね  
そこで1つ目の任務が  
日本を防衛するための  
技術力の強化なんだ



## MISSION 1

### 技術的優越の確保

日本の周辺諸国では、軍事力の強化や軍事活動の活発化が顕著になっています。そのため、こうした国々の活動への抑止力・対処力を維持、向上させていかなければなりません。日本の防衛装備品に利用されている技術力は国際的に高い水準にありますが、さらなる研究開発事業を通じて技術力の確保および強化を図ります。

確か防衛装備庁では  
さっそく新しい防衛  
装備品の研究が進められて  
いるんじゃないよね？

うん  
いくつか研究に  
着手している

そのひとつが「X-2」  
という国産の先進技術  
実証機なんだ



東京都宮崎古巣空港から飛行する「X-2」



将来戦闘機に必要となる、先進的な技術を実証するための試験機。独自の機体形状はもちろん機体の一部に特殊な電波吸収材が使われている。さらに搭載されている

基のジェットエンジンも国産のエンジンで、排気口にはジェット噴射の向きを変えて機動性を向上させる「推力偏向バドル」を採用している。

すごい！  
日本独自の  
ステルス機を  
作るんだ！

何？ ストレスって  
ストレス機？

「ストレス」じゃないよ  
「ステルス」！  
ステルス機っていつて  
レーダーに探知され  
にくくする機能なの！  
敵から発見されづらく  
なるので戦闘機  
なんかに使われる  
ことが多いんだよ！

さすがくわしいね  
マモルくん



でも  
実証機と  
いうのは  
戦闘機と  
違うのかな



実証機というのは  
技術を実証する  
ために行う試験用  
の機体のことだよ

戦闘機を開発する  
ための前段階として  
この機体を使って  
性能実験などを  
行うんだ



技術的な実験を  
繰り返し続けて  
確認ができてから  
本物の戦闘機を  
造り始めるって  
ことですね

なんだあ  
本物の戦闘機が  
できるのはまだ  
先の話か



そう！  
その通りだよ  
そしてこの「X-2」は  
2016年4月22日に  
晴れて初の飛行に  
成功したんだ

これは  
ステルス機開発の  
大きな1歩  
なんだよ



おいおい  
日本の技術は  
凄いだぞ！

いくら  
技術実証機といえど  
人が乗れる  
ステルス機を自力で  
造って飛ばすことが  
できるのは  
アメリカ・ロシア・  
中国といった  
一握りの国だけ  
なんだ  
これは世界に  
誇れることなんだよ



え！？  
どうして？  
日本はこんなに  
優れた技術を  
持っているんでしょ？



それにまだ  
将来造る戦闘機が  
純国産になると  
決まったわけでは  
ないんだ



へえー  
そっかあ！  
やるなあ  
日本も！





え？  
どういふこと？



つまりね  
マモルくん

実際に造らなくても  
「日本はこれだけの  
技術を持っているぞ」  
「自力で戦闘機くらい  
造れるんだぞ」と諸外国に  
アピールすることは  
国際間の交渉力を高める  
ことにつながるんだよ



日本の技術が  
優れているとわかれば  
その技術に頼りたいと  
思うだろう？

お互い  
持ちつ持たれつと  
考えるから  
海外から必要な装備を  
導入する場合でも  
日本の技術力を  
背景に有利な条件での  
交渉が可能と  
なるわけだよ



だから自力で造る  
ことにならなかった  
としても

高度な技術を  
研究し  
防衛装備品の  
自主開発を  
続けることに  
意義があるんだ

なるほどー





**コラム** 国産防衛装備品の例  
(開発段階のものを含む)

**SH-60K哨戒ヘリコプターの能力向上型**

現在運用中の機種をもとに  
能力向上型を開発

運用中の哨戒ヘリコプター「SH-60K」をベースとした、日本周辺海域における対潜戦の優位性を確保するための新型哨戒ヘリ。複数のヘリコプターなどで情報連携し、敵潜水艦を探知する能力を向上させるなど、2015年に開発がスタートしたばかりの防衛装備品です(写真は現在運用中の機種)。



**新艦艇**

**日本の海を守るためのコンパクトな新型護衛艦**

周辺海域での継続的な監視や対潜戦の効率的な遂行、国際平和協力活動などの多様な任務に対応できる艦艇



です。無人潜水艇などの運用能力や陸上部隊の輸送、物資の陸揚げなど災害派遣時の輸送艦としての活用も考慮しています。

**固定翼哨戒機 P-1**

導入が開始された  
国産の新型哨戒機

従来機である「P-3C哨戒機」の後継機として運用が開始された日本独自開発の新型哨戒機。「P-3C」



に比べて、探知・識別能力、情報処理能力、飛行性能が向上しており、2013年3月から海上自衛隊に配備されています。

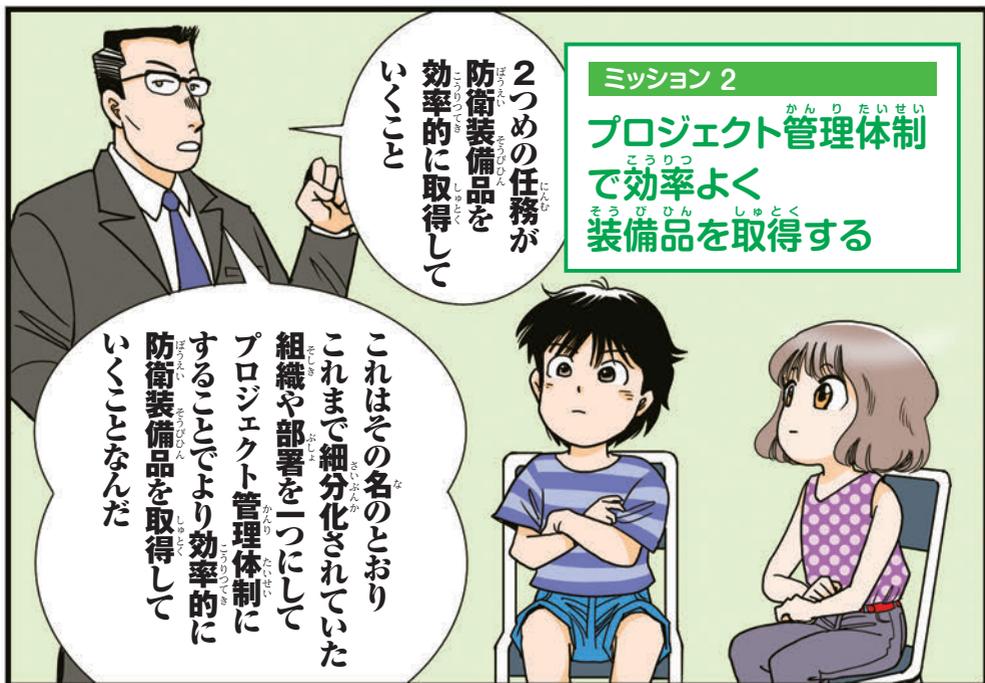
**C-2輸送機**

性能も操縦性もアップさせた、「C-1」後継の輸送機

従来の輸送機「C-1」の後継として開発。「C-1」に比べて積載量が大幅にアップし3倍以上の貨物が積めるう



え、航続距離が大幅に伸び、性能も操縦性も向上させています。2016年度中には開発が終了し、航空自衛隊に配備される予定です。



**ミッション 2**  
**プロジェクト管理体制  
 で効率よく  
 装備品を取得する**

## MISSION 2

### 防衛装備品の効率的な取得（プロジェクト管理）

防衛装備品の構想から研究開発、量産取得、運用・維持整備、廃棄まで、防衛装備品のライフサイクルをプロジェクト管理することで総合的な動きが把握でき、必要に応じて調整していくことで、より効果的かつ効率的な取得を行っていきます。

構想段階

研究開発段階

量産段階

運用・維持・  
 廃棄段階



適切な時期に適切なコストで取得、配備、運用することを目的に、各過程で管理されています。



そして3つめが  
**「防衛装備移転  
 三原則」に従って  
 諸外国と協力  
 しながら技術力を  
 強化していこうと  
 いうものなんだ**

**ミッション 3**  
**国際協力の推進**

**防衛装備移転三原則**  
 武器輸出を原則禁じた「武器輸出三原則」等に代わって2014年に決めた方針。①紛争当事国などに該当しない ②わが国の安全保障に資すると判断できる ③目的外使用や第三国移転をしないと相手国が約束した場合に、武器を輸出したり、国際共同開発に参加したりする。

**MISSION 3**

**諸外国との防衛装備・技術協力の強化**

防衛装備品の適切な海外移転により、より一層平和への貢献や国際的な協力を推進することができるようになっていきます。また、防衛装備品の高性能化を実現しつつ、費用の高騰に対応するため、国際共同開発・生産が国際的な主流となっています。防衛装備移転三原則の下で、これまで以上に平和貢献・国際協力を寄与していくとともに地域の平和と安定を維持し、日本を守り抜くため、諸外国との防衛装備・技術協力をより一層積極的に推進していきます。



**国同士で  
 協力しあう  
 わけですね**



**日本の持つ強みを  
 生かしながら  
 どんな技術をもった  
 国とどの分野で  
 協力していくのかを  
 検討し各国へ  
 積極的に働きかけて  
 いこうということだね**



もちろん防衛装備庁では  
より優れた防衛装備品の  
調達を目指しているわけ  
だから海外製の導入も  
考えているよ

どんなものを  
検討してるん  
ですか？



……ということとは  
海外から輸入される  
予定の防衛装備品も  
あるってことですか？



そうだな  
君たちは近年  
日本列島に点在する  
離島の防衛強化に  
力を入れていることを  
知っているかい？



あ！  
中国船が  
侵入しているって  
いう!!?



沖縄県尖閣諸島周辺の  
領海侵入などが問題に  
なっているニュースを聞いた  
ことあるんじゃないかな？

## 水陸機動団

2013年に策定された「防衛計画の大綱(今後の防衛力の基本的指針を政府として決定したもの)」で新たに編成。離島の防衛や占領された場合の奪回を可能にする水陸両用部隊です。



## アメリカ海兵隊

アメリカ合衆国の法律に基づき、海外での武力行使を前提に国益を維持・確保するための緊急部隊として行動。必要に応じて水陸両用作戦などの軍事作戦も遂行します。

## 水陸機動団！

そんな島々の防衛に必要となるのが海と陸の両方で機動的な作戦がとれる部隊だしかしこれまでの自衛隊にはアメリカ海兵隊のような水陸両用部隊が存在しないそこで陸上自衛隊内に新しく「水陸機動団」を編成することになったんだ



ところが隊員の足となる専用の水陸両用車が日本にはなかったんだよそこで運用実績のある海外の装備に注目し検討・試験の結果アメリカ軍がすでに運用している水陸両用車「AAV7」の導入を検討しているんだ



導入するのは、水上でも時速13 km、陸上では最高時速72 kmで移動できる最新型の「AAV7A1 RAM/RS」型。

## コラム

## 水陸両用車AAV7

アメリカ軍で長年にわたって使用されている水陸両用車。過去、数度にわたる改良が行われ、現在も主力装備としてアメリカ海兵隊のほか、各国の部隊が使用しています。日本の島々の防衛力強化のために、予定している台数を確実に導入すること、導入後の整備体制を慎重に検討しています。

日本に迫る脅威が  
どんどん深刻に  
なってきたりいるから

すでに実証済みの  
防衛装備品を海外から  
取り入れたほうが  
防衛力強化の近道に  
なるんだ

それほど日本の  
安全って  
脅かされてるの？

なんかこわいな  
早く来ないかな  
その水陸両用車



食品や生活用品の  
ように簡単に

輸入できたら  
いいんだけど

海外からの  
防衛装備品の取得は

決して簡単なこと  
じゃないんだよ

そうなんですか!?



日本仕様に変更する  
ことに加えて

輸入品に限らず  
新たに装備する

航空機などは  
それを操縦する

パイロットも

必要だからね





そうですね

うん、しかし防衛  
 装備庁ができたことで  
 以前よりも効率的に  
 取得をすすめていける  
 ようになったのは  
 確かだろうか？

コラム

海外から取得予定の防衛装備品



F-35A 戦闘機

国内で組み立ても実施する、  
 最新鋭の戦闘機

これまでの「F-4戦闘機」に代わって導入が決定しています。アメリカ、イギリスなどにより共同開発された戦闘機ですが、一部の完成機輸入を除き日本国内で最終組み立て・検査を行うほか、アジア太平洋地域における整備拠点を日本に設置することになっています。

ティルト・ローター機 V-22

固定翼機と回転翼機の  
 “いいとこ取り”した新装備

アメリカ軍で使用されている、通常のプロペラ飛行機とヘリコプターの長所を併せ持った航空機。各自衛隊で使われている輸送ヘリの輸送能力を補完するため、2018年から陸上自衛隊に順次導入される予定です。



滞空型無人機 グローバルホーク

縦に長い日本をカバーする、  
 無人偵察機も導入予定

アメリカ軍が導入している無人偵察機。無人機のため、搭乗員に対する危険や負担を減らしながら、長時間低速での偵察や情報収集、警戒監視を行うことができます。日本列島周辺の監視能力などを高めるために、2019年までに3機を取得する予定です。



逆に日本で  
開発された防衛  
装備品が海外で  
活躍することって  
あるんですか？



いい質問だね  
美羽ちゃん

防衛装備庁では  
各国との装備・  
技術協力も  
推進しているからね

「防衛装備移転三原則」  
に基づいて

日本の防衛装備品や  
技術で海外から注目  
されているものもあるよ

たとえば

海上自衛隊の

US-2

救難飛行艇

とか



あ、それ知ってる！  
海上にも着水できる  
やつでしょ？

うん 救難捜索などに  
用いるんだけど  
このUS-2というのは  
とても優秀な  
防衛装備品だね



多少の荒れた海や  
狭いエリアでも  
着水できるうえに  
低速で長時間飛べるので  
海での捜索・救助・  
輸送とさまざまな  
目的で活用できるんだ





まさに海に囲まれた島国日本だからこそ開発できた  
防衛装備品といえますね

うむ  
広い領海をもつ国々からも現在注目を集めていて今インドで導入を検討中だ  
まあコスト面などを十分に検討・検証しなくてはならないから  
実現には時間がかかるけどね

**コラム** 海外へ移転が検討されている防衛装備品

**US-2 救難飛行艇**

海・空・陸をつなぐ、日本独自の大型救難飛行艇  
飛行機と船の特徴を併せ持ち、陸上だけでなく海面にも着水できます。人命救助のために運用されており、海外からも注目されています。



**TC-90 練習機**

計器飛行の訓練用として導入された練習機  
機上の計器と地上の管制官の指示によって飛行する“計器飛行”の訓練をする練習機。計器飛行教育に必要な各種通信・航法機器を搭載しているほか、練習機として必要な改造が行われています。退役した機体の数機がフィリピン海軍に貸与される予定です。



#### ミッション 4

民間の産業基盤も  
強化する

民間の企業や会社と  
協力しながら  
効率的に防衛装備品を  
準備していく  
それが4つめの  
任務なんだ



### MISSION 4

#### 防衛生産・技術基盤の維持・強化

日本にとって最適な防衛装備品を供給し、保有する防衛力を最大限に発揮するため、防衛装備品を開発・生産・運用・維持整備・改造・改修するための人的、物的、技術的基盤の維持・強化に取り組んでいきます。また高度な技術を用いた防衛装備品からのスピノフ（民間で必要とするものへの転用）を通じ、産業全般や国内の雇用対策にもよい影響を与えることをめざします。

民間の企業などと  
協力し合うことで  
お互いに物事が  
良い方向に進んで  
いくということだね

たとえば  
どんなものが  
あるん  
ですか？





陸上自衛隊に  
配備される予定の  
多用途ヘリコプター  
UH-1Xだ

おー!!

これはすでに  
海上保安庁や  
警察・消防などで  
使われている機体の  
発展型機をベースと  
するものだから  
性能に対する心配は  
まったくないんだよ



ベースになる機体の  
性能や品質は  
お墨付きって  
わけですね!

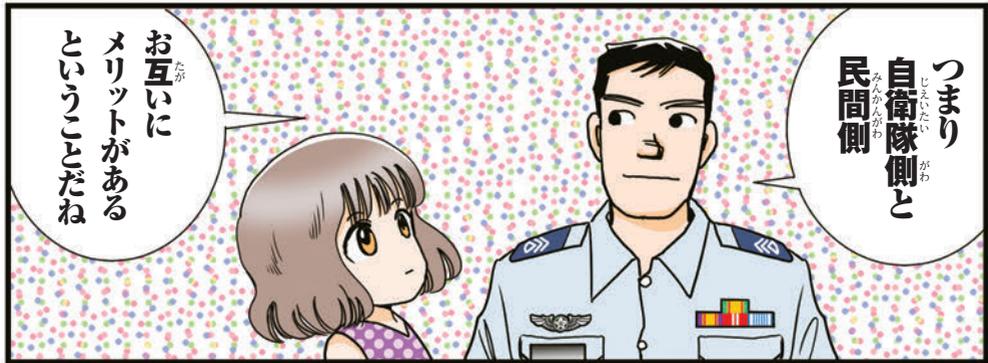
それだけじゃないぞ  
このUH-1Xは  
防衛省と国内外の  
企業が共同で  
共通プラットフォームを  
開発し、それをもとに  
自衛隊機型向けの  
改修・開発をするという  
防衛省でもはじめての  
試みでもあるんだ



えつと…  
それはつまり  
自衛隊用のヘリと  
民間用のヘリで  
共有できる所は  
共有しましょう  
つてことかな？

そのとおり！

自衛隊機型と  
民間機型を同時に  
開発することで  
経費も負担も減らせる  
うえに民間機と合わせて  
量産できるから  
おのずと機体の単価も  
下がって二石二鳥という  
わけさ



つまり  
自衛隊側と  
民間側

お互いに  
メリットがある  
ということだね

コラム UH-X多用途ヘリコプター



陸上自衛隊が装備している「UH-1J多用途ヘリコプター」の後継機として開発が進む「UH-X」のイメージ図。

非常事態の偵察や部隊の機動のためだけに使うだけでなく、貨物の航空輸送や患者搬送、各種災害時の人命救助、搜索、消火など幅広い用途に使えるヘリコプター。民間機型の初飛行は2017年に予定され、陸上自衛隊機型の量産機納入は2021年から予定しています。

## ミッション 5

# コスト削減と 監察・監査機能の強化



## MISSION 5

### コスト削減の取り組みと監察・監査機能の強化

日本の防衛予算や防衛装備品の調達を取り巻く厳しい状況を踏まえ、防衛装備品に係る契約に関する制度を改善するなど、コスト削減に対する一層の取り組みを推進していきます。また、監察・監査機能を強化し、防衛装備品の取得などに関わる業務の一層の公正性・透明性を確保します。



でも  
国の平和を守る  
ために一丸となつて  
いろんな問題に  
立ち向かつていく  
なんて自衛隊も  
防衛装備庁も  
すごいなあ



なんで  
戦争やテロは  
なくならないん  
だろう？

だげどころやつて  
外国と装備や技術を  
協力し合つて  
いるというのに  
実際は完全な世界平和が  
実現できていないなんて  
なんだか悲しいよね



簡単には  
解決できない  
問題なんだろうね

世界には  
いろんな国が  
あつて  
いろんな人種が  
いて  
いろんな思想が  
ある

そうだね  
マモルくん  
美羽ちゃん



ボク今まで  
自衛隊航空機の  
プラモ何も考えずに  
作ってたけど  
この飛行機って  
とっても大きな  
責任を背負って  
るんだね



そうだね  
これからはプラモ作り  
するときには  
その飛行機のもつ  
役割や責任の  
重みなんかも  
考えてみるのも  
いいかもね  
私もプラモを作る  
ときにはそう思い  
ながら作っているよ



えぬっ!  
田部さんも  
プラモ作り  
やるの!?

実は  
田部さんも  
マニアなんだよ  
マモルくん



私の  
ラインナップは  
すごいぞ  
マモルくん!

10式戦車や  
イージス艦  
最新のF-35A  
あとレアな  
ものもいっぱい  
あるぞ!

.....!  
負けた  
かも.....

だいしよわ  
第5章  
へいわへと  
つながる絆

そうか  
防衛省  
おもしろかったか

あの日は  
美羽からもとても  
勉強になったと  
聞いていたが  
そりゃよかったな  
マモル







あれ!?  
このブルー  
インパルス!

そう  
あのプラモ  
だよ



まあまあ  
マモルくん  
最後まで  
話を聞いてよ

え!?  
でもなんで?  
この写真の子が  
プラモ持ってるの?  
あれって森山さんが  
買ったんじゃないやあ……



え?  
このプラモ  
どうしたの?

このあいだ  
タッチの差で  
森山さんが  
ゲットした  
プラモなんだ

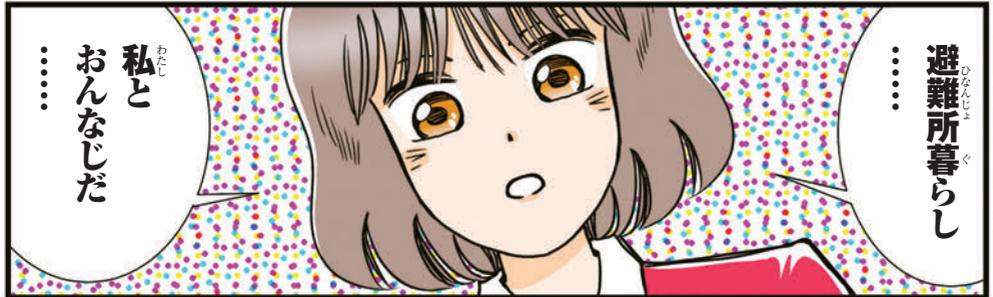


そのあとも  
避難所暮らしが  
続いてずっと元気が  
ないらしくてね

翔くんは被災地で  
ケガをしている  
ところを自衛官に  
助けられたんだ



この翔くんはね  
美羽ちゃんと同じ  
熊本地震の  
被災者なんだ



避難所暮らし  
……

私と  
おんなじだ  
……



熊本で救援活動をしている  
自衛官が知り合いでね  
彼によると  
翔くんはずっと  
ブルーインパルスの  
パイロットになるのが夢で  
このプラモを欲しがって  
いたんだそうだ

でも熊本では  
おもちゃ屋さんも  
被害を受けて  
大変だった  
らしくてね



……  
そうだったんだー

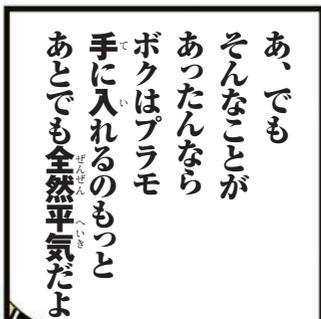
それで僕が  
おじさん  
にお願いして  
このプラモを  
とって置いて  
もらったって  
わけさ

悪かったな  
マモル  
おまえも  
欲しがって  
いたのに



さすがあー！  
エラいじゃない  
マモルくん！

……  
冷やかすなよな

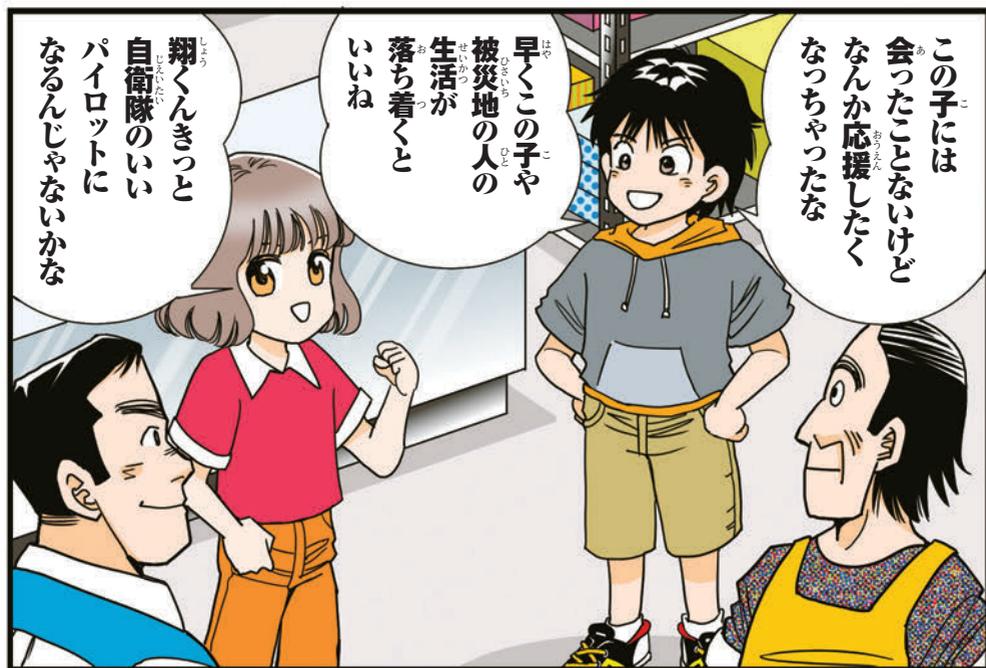


あ、でも  
そんなことが  
あったんなら  
ボクはプラモ  
手に入れるのもっと  
あとでも全然平気だよ



でもホラ  
この写真見て  
この子すごく  
うれしそうじゃない

ホントだ！





森山さんやおつちゃんが協力してその子にプラモを届けたってすごいな

人と人や国と国がひとつになつて何かするのって大切だもん

防衛装備庁でおしえてもらったよね



よし！決めた！！

夏休みの自由研究は防衛装備品の大切さについて書くことにする！！

えん？！

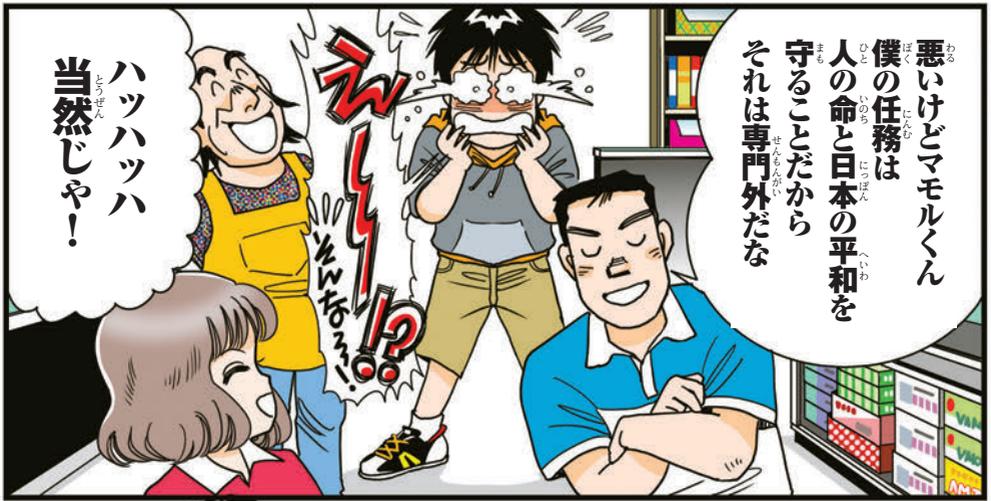


森山さん  
さういうわけで  
助けてくれない？  
おねがい♡



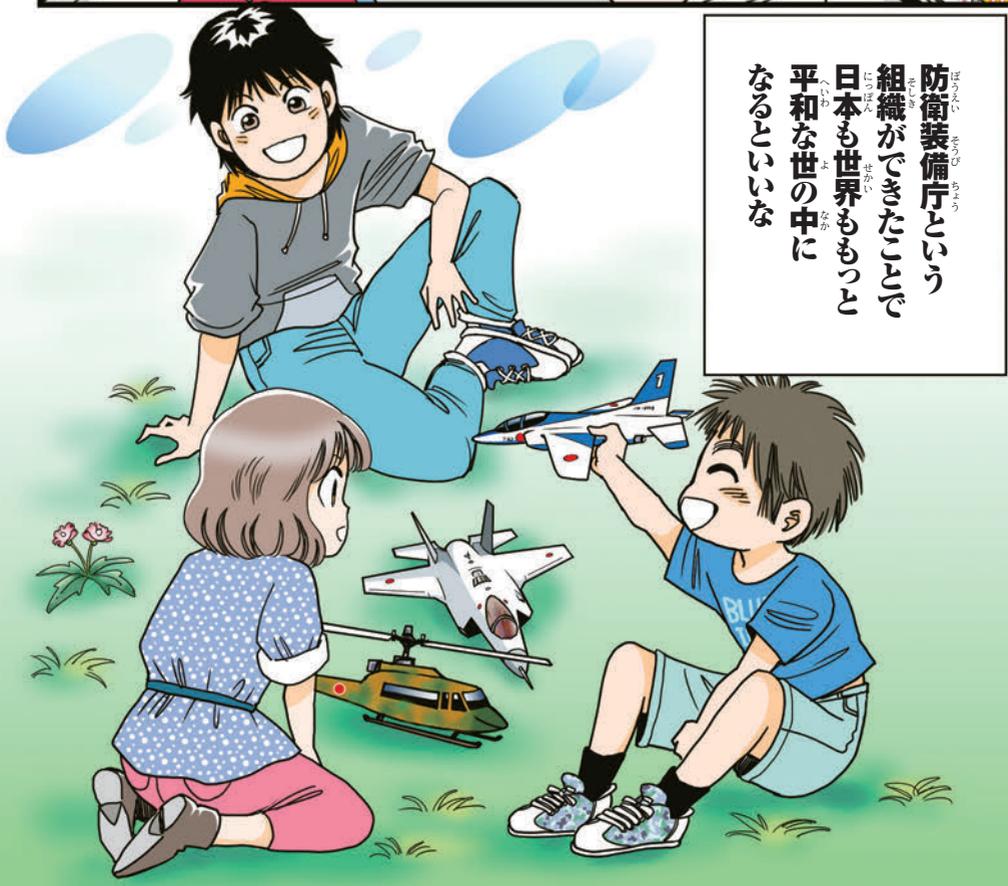
自由研究……つて  
夏休みあと2日  
しかないじゃない！

……てゆうか  
まだ宿題  
やってなかった  
のかマモル!!?



悪いけどマモルくん  
僕の任務は  
人の命と日本の平和を  
守ることだから  
それは専門外だな

ハッハッハ  
当然じゃ!



防衛装備庁という  
組織ができたことで  
日本も世界ももっと  
平和な世の中にな  
るといいな

# 主要装備品の紹介〈陸上自衛隊〉

## 16式機動戦闘車



### 〈諸元、性能〉

乗員4名 全長8.45m 全幅2.98m 全高2.87m  
最高速度約100km/h 105mm砲 12.7mm重機関銃

### 〈概説〉

空輸性及び路上機動性に優れ、中距離域で軽戦車等を撃破する装軌型の国産装甲戦闘車

## 10式戦車



### 〈諸元、性能〉

乗員3名 全長9.4m 全幅3.2m 全高2.3m  
最高速度70km/h 120mm滑腔砲 12.7mm重機関銃

### 〈概説〉

対機甲戦闘・機動打撃等で使用する国産戦車。C4I（指揮・統制・通信・コンピューター・情報）機能が特徴

## 水陸両用車（人員輸送型）



### 〈諸元、性能〉

全長8.2m  
全幅3.3m 全高3.3m  
12.7mm重機関銃  
40mm自動てき弾銃

### 〈概説〉

海上機動性及び防護性に優れ、島嶼部へ海上からの部隊等を投入する装軌式の水陸両用車両

## 99式自走155mm榴弾砲



### 〈諸元、性能〉

乗員4名  
全長12.22m 全幅3.2m  
全高3.02m  
最大速度47km/h  
155mm榴弾砲  
12.7mm重機関銃

### 〈概説〉

戦車等の近接戦闘部隊を支援する装軌式の国産自走榴弾砲

## CH-47JA（輸送ヘリコプター）



### 〈諸元、性能〉

乗員3（操縦士など）+55名  
巡航速度約260km/h  
航続距離約1,040km  
全幅18.29m 全長30.18m  
全高5.69m

### 〈概説〉

災害派遣、国際緊急援助活動等でも活躍する輸送ヘリコプター

## 03式中距離地対空誘導弾



### 〈概説〉

方面隊の作戦地域、重要地域等における部隊、施設を掩護する国産の対空誘導弾

## 12式地対艦誘導弾



### 〈概説〉

対上陸戦闘に際して、洋上の艦船等を撃破する国産の対艦誘導弾

## 中距離多目的誘導弾



### 〈概説〉

舟艇から装甲車、人員、構造物にまで対応でき、多目的性を有する誘導弾

## 除染セット（除染装置Ⅰ型）



### 〈概説〉

放射性物質、生物剤及び有毒化学剤に汚染された人員・装備品、地域等の除染を行う除染装置

## 高機動車



### 〈諸元、性能〉

乗員10名 全長4.9m  
全幅2.2m 全高2.4m

### 〈概説〉

高い最低地上高及びタイヤ空気圧調整装置により、優れた路外機動性能を有する車両

# 主要装備品の紹介〈海上自衛隊〉

## 護衛艦「いずも」型



### 〈諸元、性能〉

基準排水量19,500t 乗員約470名 長さ248m  
幅38m 深さ23.5m 速力30kt 高性能20mm機関砲  
SeaRAM 魚雷防御装置

### 〈概説〉

統合運用や災害派遣時の司令塔的役割など多用途な任務に対応するヘリコプター搭載型護衛艦

## P-1哨戒機



### 〈諸元、性能〉

乗員11名 巡航速力450kt  
全幅35.4m 全長38.0m 全高12.1m

### 〈概説〉

警戒監視、捜索・救難や対潜水艦戦などの幅広い任務に従事する国産の主力固定翼哨戒機

## 潜水艦「そりゅう」型



### 〈諸元、性能〉

基準排水量2,950t  
乗員約65名  
長さ84m 幅9.1m  
深さ10.3m 速力20kt

### 〈概説〉

AIP (Air Independent Propulsion: 非大気依存型推進)機関を搭載した潜水艦

## 輸送艦「おおすみ」型



### 〈諸元、性能〉

基準排水量8,900t  
乗員約135名  
長さ178m 幅25.8m  
深さ17.0m 速力22kt  
高性能20mm機関砲  
輸送用エアクション艇

### 〈概説〉

被災者に対する医療、補給設備などを設置しており、多面的な活用が可能な輸送艦

## 護衛艦「あきづき」型



### 〈諸元、性能〉

基準排水量5,050t  
乗員約200名 長さ151m  
幅18.3m 深さ10.9m  
速力30kt 高性能20mm機関砲  
VLS装置 魚雷発射管127mm  
単装速射砲 SSM装置一式  
魚雷防御装置 哨戒ヘリコプター

### 〈概説〉

ステルス性に配慮し、幅広い防空能力を有する新型の汎用護衛艦

## 護衛艦「こんごう」型



### 〈諸元、性能〉

基準排水量7,250t  
乗員約300名 長さ161m  
幅21.0m 深さ12.0m  
速力30kt 高性能20mm機関砲  
VLS装置 魚雷発射管  
SSM装置 127mm単装速射砲  
イーゼス装置

### 〈概説〉

BMD (Ballistic Missile Defence: 弾道ミサイル防衛)能力が付加されたイーゼスシステム搭載護衛艦

## 補給艦「ましゅう」型



### 〈諸元、性能〉

基準排水量13,500t  
乗員約145名  
長さ221m 幅27.0m  
深さ18.0m  
速力24kt 洋上補給装置  
補給品艦内移送装置

### 〈概説〉

補給能力が大幅に向上した補給艦

## 砕氷艦「しらせ」



### 〈諸元、性能〉

基準排水量12,650t  
乗員約175名  
長さ138m 幅28m  
深さ15.9m 速力19kt  
観測隊員約80名  
大型ヘリコプター

### 〈概説〉

南極観測の支援を任務とし、4代目となる砕氷艦

## US-2救難飛行艇



### 〈諸元、性能〉

乗員11名  
最大速力315kt  
全幅33.2m 全長33.3m  
全高9.8m

### 〈概説〉

波高3mの洋上でも離着水可能であり、洋上での救難に従事する救難飛行艇

## SH-60K哨戒ヘリコプター



### 〈諸元、性能〉

乗員4名  
最大速力139kt  
全幅16.4m 全長19.8m  
全高5.4m

### 〈概説〉

護衛艦に搭載し、護衛艦と共に多様な任務に従事する主力哨戒ヘリコプター

# 主要装備品の紹介<航空自衛隊>

## F-15J戦闘機



### <諸元、性能>

乗員1名 最大速度マッハ2.5 全幅13.1m 全長19.4m 全高5.6m 20mm機関砲 空対空ミサイル

### <概説>

優れた運動性能を誇る空自の主力戦闘機であり、国籍不明機への緊急発進など、空の守りを担う

## C-2輸送機



### <諸元、性能>

乗員約4名 最大速度マッハ0.8 全幅44.4m 全長43.9m 全高14.2m 最大後続距離約6,500km (12t搭載時)

### <概説>

戦術輸送能力の強化、国際平和活動などへの積極的な取組のため開発された国産輸送機

## F-2戦闘機



### <諸元、性能>

乗員1～2名  
最大速度マッハ2.0  
全幅11.1m 全長15.5m  
全高5.0m 20mm機関砲  
空対空ミサイル  
空対艦ミサイル

### <概説>

日米で共同開発され、優れた技術が結集されている戦闘機

## C-130H輸送機



### <諸元、性能>

乗員6名  
最大速度318kt  
全幅40.4m 全長29.8m  
全高11.7m  
航続距離約4,000km  
(5t搭載時)

### <概説>

航続距離が長く、PKO活動などで活躍する輸送機

## RF-4E偵察機



### <諸元、性能>

乗員2名  
最大速度マッハ2.2  
全幅11.7m 全長19.2m  
全高5.0m

### <概説>

災害時等においても活躍する日本唯一の偵察機

## UH-60J救難ヘリコプター



### <諸元、性能>

乗員5名  
航続速度127kt  
航続距離約1,295km  
全幅16.4m 全長19.8m  
全高5.1m

### <概説>

遭難者を救助する救難ヘリコプター  
右下方下部に空中受油装置を装備

## KC-767空中給油・輸送機



### <諸元、性能>

乗員4名  
最大速度マッハ0.84  
航続距離約7,200km  
(30t積載時)  
全幅47.6m 全長48.5m  
全高15.8m

### <概説>

世界初の遠隔視認装置を採用した空中給油機

## E-767早期警戒管制機



### <諸元、性能>

乗員約20名  
最大速度約450kt  
航続時間約12時間

### <概説>

速度の速さや航続時間の長さにより優れた早期警戒管制機

## J/FPS-5警戒管制レーダー



### <概説>

日本周辺空域を常時監視し、弾道ミサイルにも対処できるよう開発された固定式レーダー

## ペトリオットPAC-3 地对空誘導弾



### <概説>

弾道ミサイル防衛の下層迎撃を担う地对空誘導弾であり、弾道ミサイル発射事象に際しては、適所に展開して対応する

## ② 階級章

将官を高位として全部で16階級定められており、陸海空で色や形態が異なります。また、着用する制服や階級に応じて着用位置が肩、襟、腕など様々です。

| 共通呼称 |    | 陸上自衛隊           | 海上自衛隊 | 航空自衛隊      |
|------|----|-----------------|-------|------------|
| 幹部   | 将官 | 将<br>☆☆☆☆ 陸上幕僚長 | 海上幕僚長 | ☆☆☆☆ 航空幕僚長 |
|      |    | 将補<br>☆☆☆☆ 陸 将  | 海 将   | ☆☆☆☆ 空 将   |
|      |    | 将補<br>☆☆ 陸 将補   | 海 将補  | ☆☆ 空 将補    |
|      | 佐官 | 1 佐<br>☆☆ 1 等陸佐 | 1 等海佐 | ☆☆ 1 等空佐   |
|      |    | 2 佐<br>☆☆ 2 等陸佐 | 2 等海佐 | ☆☆ 2 等空佐   |
|      |    | 3 佐<br>☆☆ 3 等陸佐 | 3 等海佐 | ☆☆ 3 等空佐   |
|      | 尉官 | 1 尉<br>☆☆ 1 等陸尉 | 1 等海尉 | ☆☆ 1 等空尉   |
|      |    | 2 尉<br>☆☆ 2 等陸尉 | 2 等海尉 | ☆☆ 2 等空尉   |
|      |    | 3 尉<br>☆☆ 3 等陸尉 | 3 等海尉 | ☆☆ 3 等空尉   |
| 准尉   | 准尉 | 准海尉             | 准空尉   |            |
| 曹士   | 曹  | 曹長<br>☆☆ 陸曹長    | 海曹長   | ☆☆ 空曹長     |
|      |    | 1 曹<br>☆☆ 1 等陸曹 | 1 等海曹 | ☆☆ 1 等空曹   |
|      |    | 2 曹<br>☆☆ 2 等陸曹 | 2 等海曹 | ☆☆ 2 等空曹   |
|      |    | 3 曹<br>☆☆ 3 等陸曹 | 3 等海曹 | ☆☆ 3 等空曹   |
|      | 士  | 士長<br>☆☆ 陸士長    | 海士長   | ☆☆ 空士長     |
|      |    | 1 士<br>☆☆ 1 等陸士 | 1 等海士 | ☆☆ 1 等空士   |
|      |    | 2 士<br>☆☆ 2 等陸士 | 2 等海士 | ☆☆ 2 等空士   |

## 自衛官の制服、階級章、き章などの紹介

### ④ 部隊章

自衛官の所属を示す標章であり、陸上自衛官は右腕、航空自衛官は右胸に着用します。

陸上自衛隊

北部方面隊

東部方面隊

航空自衛隊

航空総隊

航空教育集団

航空支援集団

航空開発実験集団

補給本部

### ① 帽章

陸海空で着用する帽章です。海自では階級に応じて異なる帽章を着用します。

### ③ き章

自衛官が有する職務や技能・資格を示し、左胸に着用します。

陸上自衛隊

レンジャーき章

空挺き章

航空き章航

スキーき章

格闘き章

水陸両用き章

海上自衛隊

艦艇き章

潜水艦き章

航空き章

航空管制き章

特別警備き章

潜水員き章

航空自衛隊

航空き章(操縦士)

航空き章(航空士)

高射管制き章

航空管制き章

兵器管制き章

航空医官き章

### ⑤ 防衛記念章及び防衛功労章など

防衛記念章は、表彰などを受けた自衛官、特定の職務にあった自衛官の経歴を記念して、制服の左胸に着用できるものであり、全部で43種類設けられています。

功績により表彰された者

- 個人の功績による表彰
- 部隊の功績による表彰

国際貢献従事者

- PKO、能力構築支援活動及び国際緊急援助活動等
- テロ対策特別措置法に関する活動
- イラク人道復興支援措置法に関する活動

海賊対処行動従事者 (ソマリア沖)

海外勤務経験者 (防衛駐在官等)

国家的行事従事者 (オリンピック等)

国内における大規模災害に係る業務従事者

海外訓練経験者

モデルは航空自衛官(2等空曹)

(左) 第1級防衛功労章  
(右) 特別部隊功績貢献章

## 作業服装

各種作業時や艦艇等への乗込み時に着用します。

## 演奏服装 (音楽隊員)

防衛省・自衛隊の儀式、定期演奏会や音楽まつりなどで演奏する陸海空の音楽隊員が着用する制服です。

## 常装 第3種夏服

夏期に着用する制服です。

## 常装冬服

陸海空で通常着用する代表的な制服であり、主に秋～春にかけて着用します。

67

66

# 防衛装備庁の任務

## 1 技術的優越の確保と運用ニーズの円滑・迅速な反映

厳しさを増す安全保障環境を踏まえた上での技術的優越を確保しつつ、優れた装備品の創製を可能とするため、先進技術動向の把握と、これを踏まえた将来の研究開発の方向性を示す技術戦略の策定、国内外の様々な研究開発関連組織との連携、先進的なデュアルユース技術の積極的な取り組みなどを推進し、研究開発事業を通じた技術力の強化を図ります。また、プロジェクト管理を通じた装備品取得の一連のプロセスにおいて、運用ニーズを円滑・迅速に反映します。



## 2 防衛装備品の効率的な取得（プロジェクト管理）

これまで、防衛省・自衛隊では、防衛装備品の取扱いに関する業務を行う組織・部署が細分化されておりました。これらの組織が統合された防衛装備庁では、防衛装備品の構想から研究・開発、量産取得、運用・維持整備、廃棄といったライフサイクルの各段階を通じたプロジェクト管理<sup>※</sup>を行い、防衛装備品の効率的な取得を行ってまいります。プロジェクト管理を主導するプロジェクト管理部には、文官、自衛官を配置し、プロジェクトマネージャーの下、プロジェクト管理を実施する体制となっております。

構想段階

研究開発段階

量産段階

運用・維持・  
廃棄段階



(※) プロジェクト管理

防衛装備品の研究開発や調達等の各種業務について、構想段階から廃棄に至るまでのライフサイクルを通じ、性能やコスト、期間といった要素を総合的に把握しつつ、効果的かつ効率的に行っていくための方針や計画を作成したり、必要な調整を行うこと。

### 3 諸外国との防衛装備・技術協力の強化

平和貢献・国際協力の観点並びに諸外国との安全保障・防衛協力の強化、効率的・効果的な自衛隊用装備品の取得及び我が国の防衛生産・技術基盤の維持・強化といった我が国の安全保障の観点から、防衛装備・技術協力を推進していきます。

防衛装備の海外移転については、防衛装備移転三原則に従い、厳正かつ慎重に対処していきます。

### 4 防衛生産・技術基盤の維持・強化

防衛生産・技術基盤とは、防衛省・自衛隊の活動に必要な防衛装備品などを開発・生産・運用・維持整備・改造・改修するための人的、物的、技術的基盤です。国内にこのような基盤を維持・強化することは、我が国の国土の特性などに適合する防衛装備品を供給し、保有する防衛力を最大限に発揮するために必要となります。また、防衛装備品からのスピノフを通じた産業全般への波及や国内雇用創出による経済波及効果などの意義があります。



### 5 コスト削減の取り組みと監察・監査機能の強化

防衛省によるこれまでの調達効率化に向けた取組は一定のコスト縮減を実現してきましたが、防衛予算や防衛装備品の調達を取り巻く厳しい状況を踏まえ、さらなる調達効率化に向けた努力が今後の防衛力整備にとって不可欠です。防衛装備品に係る契約に関する制度の改善などコスト削減に対する一層の取り組みを推進してまいります。また、防衛装備品などの取得にかかわる公正性・透明性の向上を目指し、契約の適正化のための措置や、チェック機能の強化などのため内外からの重層的チェックにより監察・監査機能を強化します。

# 自衛隊の装備品を見ることのできる主な広報施設

## 陸上自衛隊広報センター 「りっくんランド」



### ■施設概要／

陸上自衛隊の担う幅広い役割や、災害派遣など国内における活動や国外における国際平和協力活動などの状況を、多くの写真や資料とともに紹介しており、最新鋭戦闘車両「10式戦車」をはじめとする多数の装備品を館内・屋外に展示しています。

館内には、臨場感溢れる映像が楽しめる3Dシアターや、ヘリコプターの操縦を疑似体験できるシミュレータのほか、90式戦車や対戦車ヘリコプターの操縦席に座って写真が撮れるなど、お子様から大人まで楽しめる、見て、触れて、体感できる施設です。

- 開館時間 / 10:00～17:00
- 休館日 / 月曜日、第4火曜日(祝祭日の場合は翌日)及び年末年始
- 料金 / 無料    ■ 駐車場 / あり(無料)
- 所在地・交通 / 〒178-8501 東京都練馬区大泉学園町
- お問い合わせ / 03(3924)4176
- <http://www.mod.go.jp/gsd/aeae/prcenter/>



施設外観



屋外の装備品展示



館内の装備品展示

## 海上自衛隊呉史料館 「てつくじら館」



### ■施設概要／

潜水艦の発展と現況や掃海艇の功績などに関する歴史的な展示資料を通して、海上自衛隊の歴史や、呉市と海上自衛隊の歴史的な関わりについて紹介しています。

魚雷や掃海艇などの装備品や、機雷を除去する掃海作業の様子について展示しているほか、平成3年に実施したペルシャ湾での掃海活動の様子についても紹介しています。

また、実物の潜水艦(平成16年に除籍した「あきしお」)を屋外に展示しており、潜水艦に乗艦し、艦内で、潜航中の環境や生活を疑似体験できるほか、現役隊員やOBとふれあいながら見学することができる貴重な史料館です。

- 開館時間 / 09:00～17:00(最終入館16:30)
- 休館日 / 火曜日(祝祭日の場合は翌日)及び年末年始
- 料金 / 無料    ■ 駐車場 / あり(有料) (大和ミュージアムと共用)
- 所在地 / 〒737-0029 広島県呉市宝町5番32号
- お問い合わせ / 0823(21)6111
- <https://www.jmsdf-kure-museum.go.jp/>



展示されている潜水艦



館内の装備品展示



## 航空自衛隊浜松広報館 「エアパーク」



### ■施設概要／

「見て体験して楽しむ」をコンセプトとした航空自衛隊のテーマパークです。歴代ブルーインパルスをはじめとする多数の航空機の実物が展示されているほか、直径15メートルの大スクリーンに映し出される迫力満点の全天周シアター、パイロット訓練生と同じ飛行コースを体験できるシミュレーターなど、大空を飛ばすパイロット気分を心行くまで満喫することができます。

わが国の空を守ることを任務とする航空自衛隊の「防空のための作戦の一例」について分かりやすく説明するなど、航空自衛隊を幅広く知っていただくことができます。

- 開館時間 / 09:00～16:00
- 休館日 / 月曜日(祝祭日等の場合は翌日)、毎月最終火曜日、3月第2週の火曜日～木曜日及び年末年始
- 料金 / 無料    ■ 駐車場 / あり(無料)
- 所在地 / 〒432-8551 静岡県浜松市西区西山町
- お問い合わせ / 053(472)1121
- <http://www.mod.go.jp/asdf/airpark/>



施設前に展示されている航空機



館内に展示されている航空機



フライト・シミュレータ



防衛白書とは、毎年防衛省が編集する政府刊行物で、日本の防衛政策や、1年間の防衛省・自衛隊に関わる主な事柄を記載しています。日本の防衛を考える際の資料として、様々な情報を提供できるように、写真やコラム、図表等を多く採用し、防衛省・自衛隊の姿をありのままに伝えています。

平成28年版防衛白書の主な内容

- 第Ⅰ部 わが国を取り巻く安全保障環境
  - 第1章 概観
  - 第2章 諸外国の防衛政策など
  - 第3章 国際社会の課題
- 第Ⅱ部 わが国の安全保障・防衛政策と日米同盟
  - 第1章 わが国の安全保障と防衛の基本的考え方
  - 第2章 統合機動防衛力の構築に向けて
  - 第3章 平和安全法制などの整備
  - 第4章 日米同盟の強化
- 第Ⅲ部 国民の生命・財産と領土・領海・領空を守り抜くための取組
  - 第1章 わが国の防衛を担う組織と実効的な抑止及び対処
  - 第2章 安全保障協力の積極的な推進
  - 第3章 防衛装備・技術に関する諸施策
  - 第4章 地域社会・国民とのかかわり



防衛省のホームページからも見るすることができます。

<http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/index.html>



平成28年版 まんがで読む防衛白書  
— 防衛装備品と防衛装備庁の任務を知ろう! —

2017年2月24日発行 第1刷発行

作 画 : 黒澤雅則

原 作 : 影山紀子

デザイン: BABU

発 行 : 防衛省

〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5番1号

TEL 03-3268-3111(代表)

FAX 03-5269-3270(代表)

ホームページ <http://www.mod.go.jp/>

制 作 : 株式会社 ジャパックス

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-14-14

TEL 03-5770-7601